



2016 年 5 月

第251号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 長谷川 あや子
副会長 中塚 辰生 望月 隆珉
書 記 山本 英次
会 計 小口 多津子
林外会長 大久保 重子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清
直前会長 久保田 貞視

国際会長主題 Wichian Boornapajorn(タイ) 「信念のあるミッション」
スローガン: "Count Your Blessing" 「恵みを数えよう」
アジア地域会長主題 Edward K. W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」
スローガン: "Let it Begin with Me" 「まず自分から始めよう」
東日本区理事主題 渡辺 隆 (甲府): 「原点に立って、未来へステップ」
"Stand at the origin and take a step for the future"
あずさ部部長主題 標 克明 (甲府) 「ワイズメンとして一歩前進」
クラブ会長主題 長谷川あや子 (八王子) 「若い人の成長を願い、ともに歩む」

2016年5月 第一例会プログラム

DBC浜名湖旅行会旅程表

5月21日 (土)

【八王子】 八王子駅発 9:29 (片倉 9:32) 新横
浜発 10:22 ひかり 467号 浜松着 11:32

【大阪セトル】 新大阪発 9:40 ひかり 462号
浜松着 11:05

11:40 浜松駅全員コンコース集合

楽器博物館 入場料金 大人 400円 70歳以上 無料

14:30 「国民宿舎 奥浜名湖」到着 TEL. 053-522-1115

16:30 合同例会 宿の会議室

17:30 例会修了

20:00~21:30 部屋での懇親会

5月22日 (日)

7:30 早朝礼拝 会議室予定

9:40 浜名湖遊覧船 フラワーパーク散策

14:00 浜松駅着

【八王子班】

15:11 浜松駅発 ひかり 470号 八王子着 18:00

【大阪班】

14:37 浜松駅発 ひかり 473号 16:03 新大阪着 1:20分

参加費は20,000円

巻頭言

熊本、大分の大震災に祈る

長谷川 あや子

「災害は忘れた頃にやってくる」と子どものときから云われていましたが、忘れるどころか記憶も生々しいのに、またもや大地震に見舞われ、今も余震が続いている熊本の様子をテレビで見るにつけ胸が痛みます。去る3月5日、チャリティコンサートの前の週には一東日本大震災のためにJR八王子駅前街頭募金をいたしました。震災5年目ということで昨年よりも大きな募金を頂きました。5年目に今度は熊本で・・・誰が想像したでしょうか。

被災された方々が一日も早く平穏な生活に戻れますようにと願っていますが、災害の爪痕はあまりに大きくなす

先月の例会ポイント (12月)		BFポイント	
在籍	18名	切手 (国内・海外)	0g
メン	11名	累計	240g
メイキャップ	4名	現金	0円
出席率	83%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	9,890円
ゲスト	2名	累計	76,001円
ビジター	0名		
ひつじぐも	2名	オークション	0円
		累計	15,000円

(聖句)

「しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた。そのとき、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、墓が開いて、眠りについてた多くの聖なる者たちの体が生き返った。そして、イエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人々に現れた。百人隊長と一緒にイエスの見張りをしていた人たちは、地震やいろいろの出来事を見て、非常に恐れ、「本当に、この人は神の子だった」と言った。」
(マタイによる福音書第27章50節~54節)

べもありません。そんな苦しい状況の中でもYMCAはいち早く支援に立ち上がり、その様子がワイズコムを通じて次々と伝わってまいります。熊本YMCAの施設も大きな被害を受けました。又、熊本YMCAが指定管理をしている益城町の益城総合運動公園、体育館は避難所になっており、YMCAのスタッフが懸命な支援活動に携わっています。相次ぐ余震、現地状況の変化、困難の連続の中で近隣、全国のYMCAが手を携えて支援していかれるのでしょうか。

4月18日には渡辺隆東日本区理事と相川達男地域奉仕事業主任連名で熊本地方大地震支援募金協力のお願いが出されました。「各メンバー、各クラブ、各部が一体となって支援活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。」とありました。私たちに出来ることは本当にささやかなことですが、寄り添う気持で協力できたらと思います。特に災害弱者といわれる高齢者、幼児、心身に病を持った方に支援の手が届きますよう祈らざるをえません。

東日本大震災のあった日から時を経たずして、朝日新聞の投稿欄に児童精神科医の佐々木正美先生の投書が掲載されました・・・発達障がいを持ったお子さんは環境の変化にすぐには適応出来ないで、避難所の中で大声を上げたり走ったりする行動をとるかもしれないが、どうか理解して頂きたい・・・といった内容でした。私は以前、佐々木先生の本を読み、とても感動したことがあったのでその投書を読んで胸を打たれました。

災害は辛いものですが、ハンディのある方、そのご家族にとってはその辛さ、苦しさはいかほどのものでしょう。どうか穏やかな日々が一日も早く戻りますように、そして厳しい状況の中で支援にあたっている方の健康が損なわれませんように心からお祈りいたします。

3クラブ合同メネット会・甲府街歩き

久保田佐和子

2003年、辻メネットが提唱されて始まったこの会は毎年続いて今年で13回目(2011年は中止)。今年も甲府21のメネットさんのお世話で八王子からは7名参加。

甲府駅からまず向かったのは山梨中央銀行の金融資料館でした。立派な建物内でお迎え頂いたのは金融資料館館長の古屋秀樹さんと甲府クラブ、甲府21クラブのメネットの皆さま。土曜は休館日ですが館長さんのお計らいで館内を見せていただくことが出来ました。

私は名古屋時代に東海銀行の資料館を見た記憶はありますが内容はほとんど覚えていません。今回改めて金融資料館を見せていただき日本の通貨の変遷、特に甲州金に関する資料コレクションは興味深いものでした。

その後食事会と交流会が甲府銀座近くの「アルフィー」で行われました。ここもお休みのところを松村さんのご好意で開けていただき、ゆっくりとそして美味しい時間を過ごすことができました。その後歩いて上原勇七印伝博物館

へ。本店だけあって、ディスプレイが美しく品が豊富で観光バスも留まり賑やかでした。TVで見たことはありますが工程の工夫には改めて感心しました。「印伝」は「インデア」の変化した言葉、また「インド伝来」にもよるとも言われています。5～10%割特典をいただいたので、メネットの皆さんいい買い物もされました。

今回も五感が満足する素晴らしいメネット会でした。企画していただいた甲府21のメネットの13名の皆様、今年もお目にかかれた甲府クラブの8名の皆様、私たち八王子クラブからの7名を大歓迎してくださり本当に有難うございました。心から感謝申し上げます。



盆踊り例会

多河敏子

4月23日の第一例会はC班の担当、卓話者も担当班で探します。今回は盆踊り例会でした。講師は相原安津子さん。私の家から5分の所にお住まいです。先生は日本フォークダンス連盟日本民謡公認指導者ですので、教え方も分かりやすく何度も繰り返してくれ、いつの間にか16名に増えて楽しく過ぎ1時間半はあっという間に終わってしまいます。

私の住んでいる八王子市寺田町に集会所が出来、住民の使用が可能となり、そこでは、ソロバン教室やダンス教室、そして盆踊り教室も加わりました。

ある日、掲示板に盆踊りをしませんか?の知らせが貼ってありました。

近所の友人と数人で参加しました。月二度の稽古日は第二と第四の月曜の午後1時半からです。

4月23日の第一例会に相原さんと吉田さんに卓話者として来てもらいました。相原先生から盆踊りについての説明の後、早速「みんなで踊ろう、ふるさとの民謡・盆踊り」の題名通り炭坑節(福岡県)、東京音頭(東京都)、河内音頭(大阪府)、鹿児島おはら節(鹿児島県)、太陽踊り(八王子)などを踊りました。

私の父は盆の16日に死者の霊を慰める踊りと称して、兄弟姉妹を集めて盆踊りの会場へと送り込む人でした。炭坑節・ソーラン節・北海盆歌・花笠音頭と知られた曲が鳴り響くと、塩釜神社近くは郡上の町という程で

はありませんが一晩中賑やかになりました。
そのような環境で育ったので、若い時は夏休みになると、友人から郡上八幡に行かない？と声がかかります。名古屋から岐阜経由でトロッコ列車に乗り、川沿いに走る長良川鉄道に揺られながら郡上の町に着きます。全国から集まった老若男女であふれ徹夜で踊るさまは見事でした。

この祭りに夢中になった友人がいて、夏一番の楽しみ、2泊3日の郡上踊りに数人で行きました。8月13日から16日までは徹夜で踊り、川崎、春駒、郡上音頭などはよく知られています。この夏の旅に皆さんもどうぞ！！



盆踊り例会にて（相原さんと吉田さんと多河さん）

ワイズガーデン ダリアの根塊の植付け

茂木 稔

昨秋より我々八王子ワイズメンクラブが係わっているワイズガーデンが、春のスイセン、菜の花が咲き終わり、夏の花としてダリアを何種類も植えることにしました。

4月21日の当日は曇りの植付け作業に最適な条件です。10時半に並木さん、多河さん、佐藤さん、滝波さん、私と5人で作業開始です。花壇の中心の菜の花が抜き取られた後に、若い滝波さんと佐藤さんが鍬を振るって30センチほども掘起し、厄介なドクダミの根を取り除き、そこに油粕を9キロも入れて、ダリアに適した土を作りました。

その円形の場所の中心には、秋遅くに咲く背丈が4メートルにもなる皇帝ダリアの根塊を植付け、その周りには背丈150センチくらいの大型ダリア、その外側には背丈120センチの中型ダリア、更に外側にポンポンダリアを植付けました。5月半ばには芽が地上に出て、7月中旬には一度花が咲きますが、盛夏には花を付けず、少し涼しくなる9月末から再度咲き出します。秋のダリアは色が良く台風などで倒れることが無ければ実に立派なダリアの花壇が来館者の目を楽しませてくれる筈です。

また、今の花壇に植えてあるジャーマンアイリスは大変良く成長しており、5月14日のあずさ部評議会には色とりどりの立派な花が咲く予定です。その会のタイトルを

「アイリス協議会」としたのもその開花時期が一致するのを期待しての事です。他に試しに矢車草を植えてありますので、同時に咲き揃ってくれるものと希望をしているところです。

でも、その為には地道な雑草取りもせねばなりません。皆さんの協力なしには美しい花は咲いてくれないのです。

今後の協力をお願いします。

高尾の森わくわくビレッジ報告

館長 佐藤 信也

4月に入り高尾では新緑の季節を迎えました。少しずつ暖かい陽気となり木々には新芽が付き綺麗な緑色の森となっております。

昨年もワイズの皆様へもご利用を頂き、お蔭様で目標としておりました年間宿泊人数35,000名及びプログラム参加者数28,000名を達成致しました。更に新たに花壇の整備に於いては八王子ワイズ、中央大学学生YMCAひつじ雲の皆様のご理解とご協力により四季折々の花が咲きほころぶ花壇へ生まれ変わりました。感謝を申し上げます。ありがとうございました。

新年度を迎え、皆様も良くご存知の村山達哉さん(インテル)が高尾へ異動して参りました。強力な助っ人として新たな風を吹き込んでくれると大変期待しております。

高尾も開所して12年目を迎え4月18日(月)に開所して初めて全体スタッフ会を開催しました。全体スタッフ会には研修を含み2部形式にて1部はYMサービス株式会社沿革、組織、YMCA理解。今年度のTWV運営方針、職務分担等の理解を深めました。2部では分団討議を

「2016年度わくわくビレッジ活性化について」という題材とし、以下の3点①「TWVを今よりもっと『わくわくするビレッジ』にするためにはどうしたら良いか」②

「TWVサービス憲章の8つのアクションの取組みを具体化する」としたらどんな新しいことが考えられるか」③

「楽しく生き活きと仕事をするためにはどのような改善を図ったらよいか」をテーマとして話し合いを持ちました。いろいろなアイデア、意見が分団毎に出ました。これをまとめ、優先順位を付けできる事から一歩ずつ今年度計画へ盛り込み運営して参りたいと考えています。そして、機会があればワイズの皆様へもお知らせし益々高尾へのご理解と関心を寄せて頂ければと願っております。

尚、2016年度以下の通り年間数値目標として社員は一人丸となり互いに情報を共有しサービス向上に努めて進んでまいります。今後もワイズの皆さんにもご利用頂きつつ花壇作業を含め昨年同様にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

中大・学Y便り

糧

2年 宮本雛里

私が中央大学に入学して一年が経ちました。時々、入学したときのことを思い出すことがあります。第一志望ではなかった大学。みんなでまとまって仲良くしようとするクラス。適当に入ったサークル。あの頃は全てに嫌気がさしていました。

毎日を無難に過ごし、6月の後半に差し掛かった頃、クラスで遊びに行く企画がありました。嫌々ながらも、最初で最後だと思って参加し、何時間も一緒にいて、話をするうちに、今までクラスを一つの集団としてしか見ていなかったことに気づきました。

そうして一人一人と接して、会話をすると、いつも明るい子がこんなに悩んでいたんだ、口数の少ない子がこんなに周りのことを考えていたんだ、と本当のことを知ろうとしなかったときには絶対に分からなかったことに気づいたんです。大学一年生の一年間を振り返ると、私が一番大切にしていたのは友人だったと思います。

確かに入学当初は、将来に期待も持たず、絶望していました。しかし今は、くだらないことも真面目なことも一緒に楽しみながらやってくれて、楽しいことも辛いことも嬉しいことも共有できる友人たちに出逢えたことは私の糧だと胸を張って言えます。

私の好きなドラマにこんなセリフがあります。

「予期せぬ幸運をつかむためには一つだけ条件がある。どんなに不運を嘆いても、全く気分が乗らなくてもかまわない、とにかくその場に参加する。これこそが幸せの扉を開ける第一歩である。」

始めの一步を踏み出すのは誰だってきつと怖いですが。私も遊びに行くかどうか決めるのですら、当時は勇気がいりました。けれども、ほんの少しの勇気を持って前に進むと、意外といいことがあるものです。勇気を持って行動した自分を見てくれている人がいるものです。

そして、この春、私は新歓係を経験しています。新歓係として行動していくうちに、時間を見つけて顔を出してくれたり、手伝ってくれる人が増えました。

このサークルもさまざまな人が支えてくださったからこそ、今があります。

この文章を読んでくださっている皆さんも、勇気を持って、一步を踏み出してみませんか。

西東京センター便り

〈西東京YMCA便り〉

館長 中里 敦

4月はあっという間に桜の季節が終わり、今年度がスターとして早くも一ヶ月が過ぎようとしています。西東京センターも新しい体制でスタートし、それぞれの活動もほいとも通り始まりました。これからは、センターの活動を支えてくれるリーダーのリクルートを行っていきます。特に障がい児者の活動の多い西東京では、たくさんのリーダーが必要となります。マンツーマン体制で行うこともあり、一回の活動で20名の参加者がいれば、全体を見るリーダーも含め22名必要となります。この活動をやりたい、大切だと感じて体制を整わなければなりません。YMCAの活動は本当にリーダーたちによって支えられている部分が大きくあります。皆様のお知り合いの中で、リーダーができる人がいましたらぜひ、ご紹介をお願いいたします。まずは、YMCAや活動の説明をして、やってみようと思ったら、関心のある活動に参加してもらっています。

しかし、YMCAに話を聞きに来たり、活動に参加してもそのまま続けるリーダーばかりではありません。リーダー会がほぼ毎週あり、家との距離が遠い、交通費やトレーニングのお金がかかる、学校の勉強などいくつも考えるようです。さらに、最初からうまくできる人はいないのに、一度の参加でうまくできず自分には難しいと感じることもあるようです。そんな学生を見ていると逆にやらないですむ理由を見つけていようにも感じます。新しいことを始めるのは勇気が必要で続けることは大変なことです。始めなければ今のままの生活で大変な思いはしなくてすみます。でも必要だと感じるならば、できない理由を探すより、どうしたらできるのかという未来に向かう勇気を持ってほしいと願います。リーダー活動で得るものは、限りなく大きいものです。一言では語りきれない学校だけでは学べない、社会に必要な経験と仲間を得ることができます。私たちも未来に向かう勇気が持てるように導けるよう努めていきたいと感じます。

(お話)

新約聖書の中に初めて出てくる地震の話です。十字架上でイエスが亡くなられたときの地震ですが、イエスの復活を告げる役をしたようです。十字架を通しての驚くべき現象を見て、ローマからの駐留軍の将校が、イエスのことを「本当に、この人は神の子だった」とつぶやいたという驚異的な記録です。この将校は冷静な人で、出来事を極めて客観的に見つめていた結論の一言だったと思います。聖書用語でいえば、なんと『異邦人』がイエスの神聖を見抜いた劇的な場面です。

当然見抜けるはずであるユダヤ人にはイエスの神性は隠されたままだったことを聖書が暴露した歴史です。どうしてなのでしょう。皆が神様の御計画に目覚めるのは終末の時なのでしょう。異邦人将校の叡智を早く与えられるように祈るのみです。

仲田 達男



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y S MEN S CLUBS

熊本地方大地震支援募金協力をお願い

去る4月14日に発生しました、熊本地方を震源とする地震につきましては、熊本、及びその周辺地域に甚大な被害をもたらし、今なお活発な余震が続き、予断を許さない状況です。被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。日本YMCA同盟からの情報によりますと、熊本YMCAの施設も大きな被害を受けました。また、熊本YMCAが指定管理をしている益城町の益城総合運動公園・体育館は避難所になっており、YMCAの職員が懸命な支援活動に携わっております。

東日本区としては、支援活動が長期化することが予想されることから、当面は期限を設けず、支援募金活動を行うことに致しました。各メンバー、各クラブ、各部が一体となって支援活動にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。また、早急に「東日本区ワイズ基金」から100万円を拠出し、熊本YMCAを支援することに致しました。

今後は、日本YMCA同盟と協働して、熊本YMCAが行う被災者支援活動等に役立ててゆきます。

【送金方法】

<ゆうちょ銀行>

口座名 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

口座番号 00110-0-362981

(通常の東日本区の振替用紙をお使いください。その際に「熊本支援」とお書き添え下さい)

【お問い合わせ】

東日本区地域奉仕事業奉仕主任 相川達男

TEL : 090-3227-4049

E-mail : t-aikawa@kamese.com

報 告

○4月第二例会

日時：4月9日（土）18：00～20：00

会場：北野事務所小会議室（担当C班）

出席：久保田・小口・佐藤・中里・中塚・並木・橋本・長谷川・福田・茂木・山本（11名）

【予定】

- ・第3回あずさ部アイリス評議会：5月14日（土）
集合—研修室IIの前12時30分（各自昼食を済ませ）
開会式司会—中塚 聖書朗読・祈祷—並木
歓迎の挨拶—長谷川 懇親会司会—山本
懇親会は着席ビュッフェ 12人掛け5列
- ・DBC合同例会：5月21～22日（土・日）
参加者：小口・多河・橋本・長谷川・福田・茂木・山本（7名）
- ・多摩新クラブ設立総会：5月22日（日）
参加者：久保田・中里（クラブからお祝い金）
- ・（仮）石巻広域ワイズメンズクラブチャーターナイト
：5月28日（土）石巻グランドホテル 参加者：久保田
- ・中大生新入生歓迎BBQ&草刈り
5月29日（日）わくわくビレッジに9時30分集合
- ・第19回東日本区大会：6月4～5日（土・日）
参加者：久保田・小口・長谷川・茂木
- ・6月第一例会：6月11日（土）（担当C班）
タップダンスのタベ（鑑賞後に会食とする）
Top Dance Company Freiheit

○4月第一例会

日時：4月23日（土）18：00～20：00（C班）

会場：北野事務所大会議室

出席：大久保・久保田・小口・多河・辻・橋本・長谷川・福田・茂木・望月・山本

メネット：大久保・久保田

ゲスト：相原安津子さん・吉田文子さん

ひつじぐも：佐藤克彦さん・津留崎勇太さん（17名）

卓話「みんなで踊ろう 故郷の民謡・盆踊り」相原安津子氏（日本フォークダンス連名日本民謡公認指導者）
相原先生と吉田さんの盆踊りのご披露の後、皆で輪になって踊る。

・スマイルは熊本地方大震災支援募金のために

* 老人デイサービスセンター鑑水*

【報告】

4月18日（月）ペーパーフラワー 14:00～15:00

参加者：赤羽・石井・久保田・下重・多河・山口・山中・茂木

【予定】

5月16日（月）ペーパーフラワー 14:00～15:00

BF 2016年度4月報告

切手：（国内） 0g

累計240g

西東京センター行事紹介

5月10日（火）・24日（火）15:00～16:00

【ボイストレーニング】 @西東京センター

*声を正しく出すことで健康になれます。

5月19日（木）19:00～21:00

【音訳ボランティア シジュウカラ】 @西東京センター

*本を音訳して特別支援学校に寄贈しています。

5月28日（土）13:30～16:30

【会員大会】 @東陽町センター

*会員の方とご家族、ご友人とご参加ください。



高尾わくわくワイズガーデン（4月21日）



盆踊り例会にて（4月23日）

5月誕生日の会員

望月 隆民 5月7日

松本 大樹 5月8日